

一般質問とは

議員が、村のさまざまな施策について村長や教育長に対して質問し、時には是正を求めながら、新たな施策の提案や意見を述べ、村政をより良い方向へ導くものです。

問 国勢調査員の負担減の取り組みは

答 オンライン回答率向上に取り組む

問 2025年国勢調査がこの秋実施される。調査の概要と国勢調査員の募集状況は。

答 国勢調査は、全国の人口や世帯数、地域の実態等を把握するための最も重要な統計調査であり、5年ごとに実施されている。村では国勢調査員173名を確保する必要があり、これまでも調査員の多くは自治会からの推薦により確保してきた経緯があるため、自治会にご協力をいただき選定を進めている。

また、広く一般向けの募集も行ったところである。



新政とうかい
まつえ ひであき 議員
松江 秀明



総務省統計局 国勢調査 2025 キャンペーンサイト



問 調査員の事務負担の軽減に向けた村の取り組みは。

答 調査書類をあらかじめ封筒にセットし配布しやすくすることや、アパート管理会社等への協力依頼を実施する。前回調査では52・9%の世帯がオンライン回答であり、県内2位の高水準だった。郵送提出を含め、調査員回収が不要となることから、この水準の維持向上を目指した手法を検討し、調査員の負担軽減を図っていく。

問 母乳バンクの周知方法は

答 母子手帳アプリで情報を提供

問 早産の場合、何らかの理由で母乳が出ない、または出ても赤ちゃんに与えられないケースがある。母乳バンクは、母乳がたくさん出るお母さんドナーから、寄附いただいた母乳を適切に低温殺菌処理などして、新生児集中治療室の要請に応じて、「ドナーミルク」として1500g未満の赤ちゃんに提供する仕組みである。本村の認識は。

答 県内で母乳バンクのドナー登録ができる指定医療機関は牛久市の「つくばセントラル病院」だけで、ドナー



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟

ミルクの使用医療機関は水戸市、つくば市、土浦市の3病院である。指定医療機関等が少なく、ドナー登録のために検診が必要なことから母体や赤ちゃんへの負担などを考慮し、これまで「母乳バンク」の積極的な周知は行ってこなかった。妊婦や出産後の方に情報を紹介することは、大切である。さまざまな機能のある母子手帳アプリを使い周知を図る。



赤ちゃんの命を守る役割を担う「母乳バンク」